

Topics

区立中学校防災部連合行事
金石市等被災地訪問報告会

9月3日、ゆいの森あらかわで「荒川区立中学校防災部連合行事金石市等被災地訪問報告会」が行われました。各中学校(全10校)から2名の計20名が参加し、8月1・2日の二日間での被災地訪問の報告や、金石東中学校の生徒との交流について発表がありました。生徒たちからは、日頃の防災部の取り組みや震災から7年経った復興に向けての様子や報告の後、金石市復興に向けての歌なども披露されました。



被災地訪問を報告



あいさつをする
西川区長



金石市復興に向けての歌を披露

東尾久運動場多目的広場が
リニューアルオープン

10月1日に東尾久運動場多目的広場が、リニューアルオープンしました。多目的広場は約1.7倍に大幅に拡張され、公式のサッカーができる広さとなりました。その他、足洗い場・手洗い場、観戦するためのスタンド席280席も新設され、さまざまな面で誰もが利用しやすい施設となりました。



元気にサッカーをする子どもたち

作・かずき伊緒



あらかわ少女☆ゆいちゃん

あらかわ
今昔ものがたり
日 [あらかわの歴史と伝説]

その120 金杉の画家・河鍋暁齋とあらかわ

文化の秋、芸術の秋、都内のあちこちで名画の展示会が開かれているよね。なにに、お休みの日は家族で美術館めぐりを楽しんだって。それはすてきだね。

暁齋さんが描いた橋場の渡し周辺

ところで、名画といえばこの絵を知っているかい？ 2枚の絵が上下に並べられている珍しい絵だ。南千住三丁目の石浜神社、白鬚橋辺りをテーマにして描いたものなんだよ。上の絵の舞台は、石浜神社。お稲荷さんにまつわる不思議なお話をテーマにしたもの。下の絵の舞台は、橋場の渡しに近くにあつ



東京開化名勝ノ内
(荒川ふるさと文化館蔵)

【問合せ】荒川ふるさと文化館
☎(3807)9234



執筆
野尻館長

た茶屋。二人の女のひとと一匹の猫が横になり、目の前の隅田川と遠くの筑波山をのんびりながめている。緊張感がある上の絵とは正反対だね。

妖怪画家・暁齋さん

この絵は、幕末から明治時代の初めにかけて大活躍した河鍋暁齋さんが描いたものだ。暁齋さんの名前を初めて耳にしたかもしれないけど、きつとどこかで絵は見ているはず。暁齋さんは、みんなが大好きな妖怪の絵をいっぱい描いたんだ。「暁齋百鬼画談」という妖怪の本も出版しているんだよ。それに仏画から、地獄絵、妖怪画、笑いを誘う風刺画まで、何でもござれの画家だったんだ。外国人のお友だちもいて、有名な建築家のジョサイア・コンドルさんを弟子にするなど国際人だったんだよ。

金杉の画家・暁齋さん

暁齋さんは、よく引越をしたそうなんだけど、実は明治22年(1889)57才で亡くなるまでの数年間、お嫁さんの実家がある金杉(今の東日暮里五丁目、都立竹台高校付近)に住んでいたんだって。あらかわが暁齋さんの晩年の活動の場だったんだよ。今度、荒川ふるさと文化館や図書館で暁齋さんについて調べてみよう。